

文部科学省及びJST、管理機関及びSSH指定校の役割		役割に照らしてそれぞれの取組を検証するためのポイント	
文部科学省及びJST	① 文部科学省は、先進的な理数教育を通じて、生徒の科学的能力を培うことで、我が国における科学技術人材育成の先導的役割を果たすと期待できる学校をSSH校に指定する。また、JSTは、SSH指定校の計画が円滑に実施されるよう、SSH指定校に対して、必要な範囲で経費支援等を行う。	①	A 採択における審査の観点の改善
	② 管理機関、SSH指定校の取組(研究開発の進捗や教育課程を含めた教育内容等)について中間評価等を行う。	②	A 中間評価や実地調査による取組状況(計画の進捗等)の確認
			B SSH指定校の経費執行状況の確認
			C SSH指定校へのアンケート調査を通じた改善(※1)
	③ 管理機関、指定校の取組について、全国規模での情報(各学校の取組等)の共有、優良事例の周知等を通じて普及・啓発を図る。	③	A 全国のSSH指定校間の情報共有の機会提供、アンケート調査を通じた改善(※1)
B JSTのホームページ等によるSSH事業に関する広報			
④ 事業の成果・効果が最大化されるよう、事業運営の改善を図る。	④	A JSTの支援活動に関するアンケート調査を通じた改善(※1)	
⑤ SSH事業全体の成果を把握・検証・発信する。	⑤	A 事業目的に照らしたSSH事業の成果の把握・分析(関連:⑦⑩)	
管理機関及びSSH指定校の役割		役割に照らして取組を自己評価するためのポイント	
管理機関	⑥ 所管するSSH指定校における優良事例や教師の指導体制等について所管の高校や教師(教育委員会については所管する地域の高等学校)に対して普及・啓発活動を行う。	⑥	A 管理機関の活動及びSSH指定校の取組事例の紹介、成果の普及の促進
			B SSH指定校での公開授業、所管する学校の教師を対象とした研修会・研究会の開催
C 指導マニュアル等の作成、配布(公立の場合)			
⑦ 所管するSSH指定校の取組の有効性(所管するSSH指定校の指定前後での比較、SSH指定校の取組に関する分析等)を検証する。	⑦	A SSH指定校の指定前後での比較、SSH指定校の取組に関する分析等	
SSH指定校	⑧ 設定した研究開発計画を(状況に応じて適切かつ柔軟に見直すことも含めて)推進し、教育課程(単に新しい科目の創設やカリキュラムの改編といった狭義の意味だけではなく、教育課程の全般といった広義にとらえた意味合い)等の改善に取り組むことによって、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材の育成を図る。	⑧	A 研究開発の状況及び成果(卒業生の活躍事例を含む)の発信、研究開発計画の進捗等に関する自己評価
			B 生徒等に対するアンケート調査(意識調査)を通じた改善
	⑨ 管理職を含めた教職員の異動等の如何を問わず、学校長のリーダーシップの下、学校全体として組織的に研究開発に取り組む体制を整備する。また、外部有識者等からなる運営指導委員会を組織し、取組の改善に向けた評価を受ける体制を整備する。	⑨	A 学校全体の取組体制
			B 運営指導委員会の活動
C 運営指導委員会からの助言等を踏まえた改善			
⑩ SSHの取組の成果・効果の有効性(生徒の追跡調査の実施、指定前後での比較、SSHの取組主対象生徒と一般生徒との比較、生徒の能力の伸長、指定回数に伴う取組の先進性の度合い等)を把握・検証する。	⑩	A 生徒の追跡調査の実施	
		B SSH指定校における一般生徒との比較等の実施	
		C 指定回数に伴う取組の先進性の度合い等の検証	

※1 国(文部科学省及びJST)から直接、管理機関及び学校に対して、一つにまとめてアンケート調査を実施。

※2 主要項目案を踏まえて、具体的なアンケート調査項目をSSH企画評価会議で検討。また、同会議でアンケート結果を踏まえた改善方策について審議。

※3 主要項目案を踏まえて、具体的なアンケート調査項目をJST委員会で検討。また、同委員会でアンケート結果を踏まえた改善方策について審議。